

2011年9月1日

東北グランマのX'mas オーナメントについて

今回の「ビオファジャパン・オーガニック EXPO 2011」(2011年11月1日(火)～3日(木・祝)/東京ビッグサイト東4ホール)では、東日本大震災被災地との“仕事づくり”と“こころの交流”を目的とした「東北グランマのクリスマスオーナメント (Christmas Ornament from Tohoku Grandma / 東北のおばあちゃんが作ったクリスマスツリー飾り)」(主催運営:「チームともだち」)を販売します。

東日本大震災被災地を生産拠点に

「東北グランマのクリスマスオーナメント (グランマオーナメント)」は、宮城県石巻市北上町十三浜大指(おおざし)で長年にわたり漁業を営む女性たちをはじめ、岩手県九戸郡野田村、久慈市および陸前高田市で被災した女性たち(=今回のプロジェクトではグランマと呼んでいます)によって作られます。

女性たちの働く喜びを取り戻すために

ご存知のとおり、2011年3月11日の東日本大震災は、東北地方を中心に甚大な被害をもたらし、多くの命、財産、そして仕事を奪い、人々の生活を今も脅かしています。沿岸部で漁業や衣料の製造に携わる女性たちもまた一瞬にして何十年も毎日続けてきた「仕事」を失いました。不安と孤独を抱える人々が日常を取り戻すために「日々の仕事」を創りだす、手を使い、会話を楽しみ、一生懸命ものを作る、それが生活の糧となり、明日に生きる喜びの源となる。そうした思いからグランマオーナメントプロジェクトが生まれました。

オーガニックコットンの残布を活用

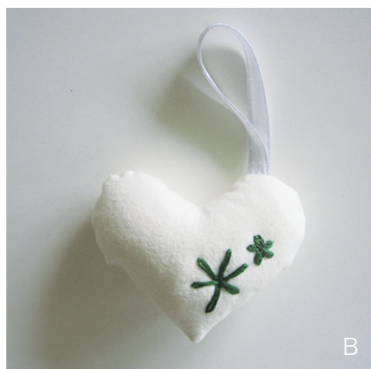
グランマオーナメントはオーガニックコットン製品の製造過程で出る残布(ざんぷ:裁断後に余った布)を活用しています。被災地支援・復興と同時に、東北発信で Ecology & Economy (環境面と経済性)をテーマに日本を元気にするエコ復興につながるプロジェクトでもあります。

被災地との“心の交流”：新たなビジネス創出へつなげたい

また、単にオーナメントを購入頂いて終わりではなく、携帯・ホームページ等を通じて「グランマ・クラブ（仮称・準備中）」に登録いただき、メッセージを頂くとともに、継続的に生産者および地域の漁業・製造業等の復興の様子をお伝えする予定です。グランマオーナメントの生産拠点を中心に地域の情報発信をしながら、新たなビジネス創出、次の“グランマ”プロジェクトにつなげていきたい、震災を新たな契機としてとらえ、東北と国内外との“新たなつながり”を創りだしていきたいと考えています。

“グランマ”の手で作られたオーナメントを、次の世代を担う子どもたちへ

なお「BioFach Japan・オーガニック EXPO 2011」会場では「東北グランマの X'mas オーナメント」の展示・販売と同時に、購入者のご意志に応じてオーナメントを寄付いただき、会場内のクリスマスツリーにメッセージとともに飾らせていただきます。オーナメントを飾ったクリスマスツリーは、購入いただいた方々からのメッセージとともに、生産した地域いずれかの小中学校に寄贈させていただく予定です。



東北グランマの X'mas オーナメント（サンプル商品画像）

（2011年10月中旬より販売開始予定。サンプル商品も実際に被災地で生産したものです）

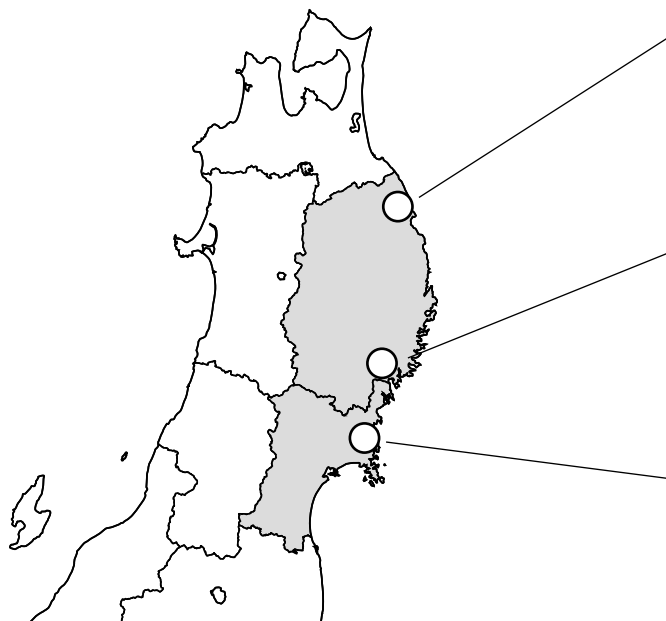
「A: オーナメント小5個セット」

「B: オーナメント大1個（星型）」

「B: オーナメント大1個（ハート型）」の3タイプ

沿岸部で連携する「東北グランマのクリスマスオーナメント」生産拠点

現在、3拠点で50名近いのグランマたちがオーナメント作りに携わっています。



岩手県久慈市

津波で設備が全壊した縫製工場も手伝いながら、グランマが大タイプを製造します。

岩手県陸前高田市

市内で建屋が無事だった企業はわずか4社。うち1社下着製造メーカーがサポートしながら、グランマが大小両タイプを製造します。

宮城県石巻市北上町十三浜 大指(おおざし)

「十三浜わかめ」等の名産品で知られる漁場。そこで働き続けてきたお母さん10数名からは、手縫いの「オーナメント小タイプ」をお届けします。

グランマのクリスマスオーナメント ～大指 はじめての打合せ

震災後、大指のお母さんたちと初めて出会い、
グランマオーナメントが生まれた瞬間を YouTube で公開しています。

<http://www.youtube.com/watch?v=b0lNa8IWvMY&feature=youtu.be>



東北グランマのX'mas オーナメント委員会

「チームともだち」

代表：登内義也

<http://tomodachi.in/>

東日本大震災後、全国の様々な分野の個人が、業種、地域等を超えて5月に設立。

震災後いち早く、被災地と被災地以外の子どもの連携による「子ども新聞」の制作、被災地名産品を販売する被災地支援ネットショップ「三陸北リアス産直市場」(<http://urikata.com/>)を立ち上げ、被災地が自立的に復興するためのサポート・支援を模索しながら活動している。(一般社団法人化へ準備中)

[協力]

(株)アバンティ

代表取締役 渡邊智恵子

<http://www.avantijapan.co.jp/>

NPO 法人日本オーガニックコットン協会

http://www.joca.gr.jp/about_joca/aboutjoca_01.html

[問い合わせ先]

チームともだち：東北グランマのクリスマスオーナメント委員会（担当：登内、大谷）

grandma@tomodachi.in